

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	グループホームあすなろ 1	評価実施年月日	平成20年10月
評価実施構成員氏名	代表取締役 金子敏幸 ・ 管理者 佐藤恒子 ・ 介護支援専門員 西村秀司 ・ 1階フロアスタッフ		
記録者氏名	佐藤 恒子	記録年月日	平成20年10月

北海道

は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	職員を中心として作り上げている。		理念を基本としてサービス提供して行く。
<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取組み 2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	職員が考えた理念であり、フロア内にも掲載し日々実践に取り組んでいる。		日々、理念を確認する場を設けて行く。
<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	掲示板やパンフレット、地域・家族への定期便り(あすなる便り)他に明示している。		今後とも取り組んで行く。
2. 地域との支えあい			
<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	挨拶を心がけ、ホーム内の動物(犬、ニワトリなど)を見学されたり、餌をあげに来る方もいる。		もっと会話を広げて行きたい。
<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 5 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	当ホームと町内会の行事があるときは案内、声掛けして交流を深めている。		町内会の資源回収や町内清掃、当ホームでの「あすなる祭り」等の行事への参加者を増やして行きたい。
<input type="checkbox"/> 事業者の力を活かした地域貢献 6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	町内会の行事に参加して「介護保険相談会」を設けている。		気軽に会話ができる良い関係を築いて行きたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>職員全員で評価検討を行い、問題点に対しては話し合い取組んでいる。</p>		話し合いをし、実行後に反省会を持ち改善に努めている。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>2ヶ月に1度会合の場を持ち、ホームでの行事の内容報告やヒヤリハットの概要等の報告を行い、意見を頂きサービス向上に取組んでいる。</p>		今後も意見を頂き、サービス向上に努めたい。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>生活支援課担当者との意見交換を行っている。介護支援課へ法的な事の相談や指示を仰いでいる。</p>		今後とも関わりをより一層深めて行きたい。
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>研修がある場合参加している。</p>		必要に応じて活用・対応して行きたい。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>「身体拘束委員会」を設置し、防止する努力や職員の交流によるチェックを行っている。研修がある場合参加している。</p>		職員間でも注意を行い、馴れ合いでの対応にならない様に心掛けて行きたい。
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>身体的にホームでの生活が困難になって来た場合には、主治医の意見・説明を参考として、ご家族との話し合いの上退去して頂いてる。</p>		ご本人・ご家族が納得したうえで、入居・退去して頂ける様に努める。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	苦情、相談の窓口を設けている。利用者と職員とでは日頃の会話などで聞き入れ対応している。	○	意見や不満・苦情を気軽に言える関係や雰囲気づくりを心掛けたい。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	ご家族が来訪された時や毎月発行している「あすなる便り」に暮らしぶりや職員の異動を報告している。 月に一回預り金の出納帳をコピーし領収書と共にご家族に送付している。		電話連絡他も含め、報告を密にして行くよう努める。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	苦情、相談の窓口を設けている。運営推進会議を通して、ご家族の代表からも意見を頂いている。		ご家族よりの意見を頂きやすい雰囲気・関係を築いて行きたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月のミーティングや親睦会を行ない意見や提案を聞き反映させている。	○	職員からも意見を聞く機会を増やし、反映して行きたい。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	利用者の状況に合わせ、時には職員の人数を増やしたり看護師が勤務する。		今後とも状況に合わせて、その都度調整して行きたい。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	各フロアの職員の意見も取り入れ配慮し、最小限の異動に努めている。		やむを得ず異動があった場合、入居者様の表情や行動を観察し新しい環境に慣れるよう支援して行く。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> <p>ホーム内での研修や外部へのスキルアップのための研修を受講させている。</p>		<p>今後も研修の参加を増やし個々のスキルアップに努めたい。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> <p>グループホーム協議会主催の研修会に行ったり、会場を提供し勉強会(講演会)を開催している。</p>		<p>交流の機会を増やし、意見交換等によりサービス向上を図りたい。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>親睦会を行ったり、相談・アドバイスをしている。</p>	○	<p>職員同士の意見や提案をする場を作って行きたい。</p>
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p> <p>個々の話に傾聴し、向上心を持って働けるように努めている。</p>		<p>出来るだけ多く、個々の話を聞き向上心を持って働ける様心掛けたい。</p>
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>入居前に何回か面談を行ない受け止めるよう努力している。</p>		<p>ご本人がホームを理解・納得して頂ける様に努めたい。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>何回か面接や電話連絡にて話し合いを行ない受け止めるよう努力している。</p>		<p>今後もご家族の気持ちを受け止める努力をして行きたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	良く傾聴、分析し対応に努めている。		入居後も状況等の新しい発見に努める。
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	本人にもホームを見学し、体感して頂き納得したうえでサービスを利用してもらっている。場合によっては宿泊の体験をして頂いている。		入居後も関わりを多く持つように心掛け、情報収集をしサービスへの役に立てる様努める。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	調理や掃除を共にする事で会話を多く持ち信頼しあえる関係を築いている。		各々の個性を尊重し共感して行く。
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	来訪時、近況や変化を報告し共に支えて行ける様話し合いをしている。		今後とも些細な事でもご家族へ報告し共鳴出来る様努める。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	家族来訪時には近況報告し理解して頂いている。		今後とも継続して支援して行く。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	友人・知人など気軽に来訪出来るような雰囲気作りに努めている。		今後とも支援して行く。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	リハビリ体操やゲーム等でスタッフが間に入り個々に声掛けし参加して楽しまれていると思う。		利用者様同士が良い関係で生活出来る様に支援して行く。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	身体機能の低下等でやむを得ず退去された入居者様に対して、移転先へ面会に行ったり、ご家族の相談を受けている。		今後ご家族より相談が有る際は対応して行く。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常の会話や動作から希望や意向を把握してアセスメントを行ない、入居者様の具体的な介護計画の見直し作成をしている。		ご本人の希望・意向を受け止め支援して行く。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族からの情報や本人との会話、行動により把握している。		今後とも把握に努める。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	全職員が介護計画を共有しその都度記録を心掛けている。		個々の状態を把握し支援に反映して行く。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	その都度ご本人やご家族との話をする機会を持ち要望を取り入れている。定期的なモニタリング・毎日のミーティングで意見・アイデアを出し反映している。		利用者本位の介護計画になっているか、再度確認・修正に努める。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監視のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	3ヶ月に一度の介護計画の見直しをモニタリングを行なっている。見直し以前についてはその都度スタッフやケアマネ等での申し送りを密にし記録に残している。		些細な現状変化も把握して行きたい。
38 ○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	一日の生活の様子を個別のケアに基づき記録に残し、実践や見直しに活かしている。	○	個人の介護計画に沿った記録を残して行く。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	ご家族との外出、外泊その他受診の送迎など、柔軟な対応を実施している。隣接の小規模多機能やグループホーム、系列のデイサービスとの交流をしている。		合同でのレク等を実施して行きたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	交通安全教室、消防訓練の参加他必要性がある物は取り入れている。		定期的に歌のボランティアに来て頂いたりしているが、もっと地域資源と協力しあい活用に努めたい。
41 ○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	他のサービスは利用していないが、必要に応じ以前に活用していた事業所やケアマネに相談や情報提供をお願いしている。		必要に応じて対応して行きたい。
42 ○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	ケアプランセンターを通し、小規模多機能、グループホームとの連携の中で長期的なケアマネジメントを目指している。		近隣地域包括支援センターとの連絡を密に今後の長期的、ケアマネジメントに活かしていきたい。



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。	協力医院があり、定期受診・検査を行い、必要に応じ往診をして頂いている。		今後も協力して頂ける様努める。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	いつでも相談出来るよう、かかりつけ医とは連絡を密にし、支援出来るようにしている。		状態等を密に報告・相談して行く。
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	職員に看護師がいて、日常より相談・指示をして貰っている。		今後も継続して行く。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院先へ行き担当医や看護師と話し合っている。		今後とも支援して行く。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	重度化した場合や終末期は、家族・かかりつけ医と話し合い方針を定め協力している。		早期から何回も相談の場を持ち全員で方針を共有して行く。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	かかりつけ医と相談し、身体状況に応じた支援をしている。	○	新人スタッフが多く、知識が浅いため十分とは言えず今後チーム内での申し送りを密にし検討していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>フェイスシート等での情報交換をしている。</p>		<p>密な情報交換を行い、住み替えによるダメージを軽減出来る様に努めたい。</p>
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>誇りやプライバシーを損ねない様に、場合によっては声のボリュームや場所を考慮し言葉掛けを行っている。</p>	○	<p>時折 大声での対応が見受けられる為、その都度指導して行きたい。</p>
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>出来るだけ入居者からの意思表示が出来るよう話しやすい環境を作れるよう努力している。又、入居者個々に出来ることはして頂いている。</p>		<p>入居者様の目線・ペースに合わせて支援して行きたい。</p>
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>リハビリ体操や食事の時間は決まったときにして頂いているが、その他はひとり一人のペースで生活して頂いている。</p>	○	<p>職員の都合を優先する時も有る為、入居者様のペースを大切にする。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>毎朝 洗面所にて整髪を行い身だしなみを整えている。理容は毎月決まった曜日にきて頂いているが、ご本人の希望があれば美容室同様望む店に行けるよう支援している。</p>		<p>今後ともご本人の意向を聞き、支援して行きたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	ひとり一人の好みに合わせ調理し準備や片付けはみんなで行っている。		今後とも個人のレベルに合わせて支援して行きたい。
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	お酒はご本人の希望でいつでも飲めるが薬との飲みあわせがある方の量はご本人と話し合い制限させて頂いている。 たばこは決まった場所で喫煙して頂いている。 飲み物もメニューを用意して好きな物を選んで頂いている。		飲酒や喫煙はご本人の体調も考慮し、話し合いながら支援して行きたい。
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	排尿リズムのつかめない方については排尿チェック表はつけている。便秘症のかたには起床時に冷牛乳等で水分補給したり、排便の間隔を見ながら下剤を使用している。		個人の排泄パターンを把握し、気持ち良く排泄出来るよう支援して行く。
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	週2回で曜日はこちらで決めているが、希望があればいつでも入れるよう対応している。		今後も一人ひとりの希望を考慮し支援して行きたい。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	表情観察し声掛け等で促している。		個人の生活習慣を尊重し支援して行きたい。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	買い物やドライブ、東屋での昼食等を行い楽しみを持って生活できるよう支援している。		個々の力を見出し活かして行きたい。 外出の支援も続けたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	自己にて管理可能な方は所持され、買い物や外出時に使用されている。		個人の管理状態を観察しながら、ご家族とも相談し支援して行きたい。
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。</p>	希望があれば対応している。時には、ご家族にも協力して頂き外出・外泊等されている。		今後もご家族の協力も頂きながら支援して行く。
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。</p>	フロア内で弁当をみんなで作り、出掛けるように支援している。また、個別での対応も行っている。		今後も支援して行きたい。
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。</p>	いつでも電話をしたり、手紙のやり取りが出来るよう支援している。		電話する時間の配慮や手紙等についてはご家族に確認して手渡す。
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	いつでも訪問出来、明るい雰囲気作りを心掛けている。		今後も居心地の良い雰囲気作りに努める。
(4)安心と安全を支える支援				
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	「身体拘束委員会」を各フロアより選出し、マニュアルなどの作成や資料作りに取り組んでいる。	○	行動を制止する事が有る為無くす様心掛け、見守りを重視する。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。</p> <p>フロアの扉は施錠の時間を決めている(17:30~10:00)が、希望があれば外出(解錠)して行ける様にしている。居室や玄関は施錠していない。</p>	○	施錠時間を短縮して行きたい。
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p> <p>自立出来る方でも安全のため見守りしている。夜間は定期的に巡回し状態によっては頻回に行っている。</p>		今後も安全に生活出来る様に様子を把握し見守り支援して行きたい。
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p> <p>タバコや火気使用時は決められた場をお願いしている。剃刀・針等は職員が管理している。</p>		入居者の状況に合わせて対応して行きたい。
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p> <p>ひとり一人の状態に応じてモニタリングを行ない創意工夫し事故防止に取り組んでいる。</p>		服薬前の声だし確認等、今後も継続し事故防止に努める。
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p> <p>全体的な研修や救命救急の講習にも参加している。各フロアにマニュアルを置いている。</p>		全ての職員が対応できる様に努める。
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p> <p>定期的にホームにて火災訓練や消防本部主催の自衛消防訓練に参加している。運営推進会議にて地域の方の協力をお願いしている。</p>	○	入居者の身体状況も考慮し、避難方法を検討・訓練する。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている。</p> <p>体調の変化に伴い説明し理解して頂いている。</p>		<p>今後も起こり得るリスクを早目に察知し、ご家族へも十分に説明し対応して行く。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p> <p>毎日のバイタルチェックや生活の様子・表情を観察し、日誌や口頭での申し送りをしている。</p>		<p>体調変化の早期発見に努め、情報を共有し対応する。</p>
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p> <p>個別の受診記録や薬の説明書をフロアに置いて変化があれば入れ替えている。</p>	○	<p>職員一人ひとりが理解しやすい資料の作成や薬の内容・目的等の勉強をする機会を増やしたい。</p>
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p> <p>起床時の水分補給や食事内に食物繊維を取り入れる様心掛けている。 排泄チェック表を用い、主治医と相談しながら下剤の使用・調整を行っている。</p>		<p>今後とも継続して行く。</p>
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p> <p>声掛けはしているが全員とはいかず義歯の方は1週間に1度のポリドント洗浄を行っている。</p>	○	<p>全員が最低一日一回でも洗浄して頂ける様声掛けに努める。</p>
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p> <p>毎日の食事量や水分量を把握し記録に残している。 少ない時は声掛けし食事や水分を摂って頂く様努めている。 食事状況により、補助食品の使用や食事内容(味・刻み等)を工夫している。</p>		<p>身体状況に合わせて栄養バランスや量・料理方法を考慮し、水分も摂取出来る様創意工夫する。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウィルス等)	排泄後や外出後等の手洗い・うがいを徹底している。 共有部分の手摺・トイレ等も消毒し予防に努めている。 各フロアにマニュアルを置き、感染症に対しての知識・対応を深めている。		入居者・職員は全てインフルエンザ予防注射を行っている。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	毎食後の調理用具の消毒を行い衛生管理に努めている。 賞味期限に気をつけ、1週に2回の買い物で使い切るよう努力している。		今後とも衛生管理や食材の使用・管理に留意して行く。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	花や畑、犬他の小動物を飼い近隣の人等が来易い環境を心掛けている。日中も施錠されていないので、町内の子供達も気軽に遊びに来ている。		今後とも環境作りを行っていく。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	廊下やフロアに、季節の飾りつけや花等を置いている。 テレビの音量の調整やカーテンでの光の調整を行い不快のない空間作りを行っている。		季節等を考慮し継続して行く。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	各個人の自室があり、フロアでは親しい方同士の座席を考え工夫している。		一人ひとりに合わせた居場所作りが出来る様努める。
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いたれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れた家具や布団を使用して頂いている。 仏壇を置かれている方もいる。		今後ともご本人が落ち着く居室作りをして行く。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>窓の開閉や換気扇などで行っている。 トイレに芳香剤を置いている。 温度計・湿度計を設置し、冷暖房の調整やぬれタオル等で湿度の調整を行っている。</p>		<p>今後もこまめに配慮して行く。</p>
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>廊下、トイレ、必要に応じて居室内のベットにも手すりを設置している。</p>		<p>個々の身体機能に合わせ工夫して行く。</p>
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>各居室の扉に名前をつけ、トイレには表示を付けている。</p>		<p>混乱や失敗しても、ご本人の話を傾聴し意志を受容して、わかる力を活かしていける様努める。</p>
87	<p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>建物の周りに畑や東屋が有り苗植えや収穫等を行ったり、犬やうさぎと関わりとても楽しまれています。</p>		<p>今後とも継続して行く。</p>



V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない	①
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない	①
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	④
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない	①
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない	③

V. サービスの成果に関する項目			
項目		取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない	②
98	職員は、生き生きと働いている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない	④
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	③
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない	①

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点 等を自由記載)  
 個別のリズムを持ちつつも、集団生活の場としてのきまりごとは、守って頂くよう説明し理解して頂いている。楽しみの一つでもある食事は個人の好みに合わせ調理し、笑いや会話の絶えないフロア作りを努力している。入居者同士の助け合い(車椅子を押ししたり、配膳、下膳を押ししてくれる)今後も「温かい家族」を目標にしていきたい。